

第104回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和6年7月30日（火）10：00～11：20
2. 場所：九段合同庁舎 10F 特別会議室
3. 参加者：神野委員長、菅原委員長代理、宇野委員、小野委員、白須委員、
玉木委員、林委員

4. 議事要旨

（1）令和6年度第1四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金の令和6年度第1四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

（2）資産運用委員会設置要綱の一部改正について

事務局から、資産運用委員会設置要綱の一部改正を行い、資産運用委員会の議事録を開催後7年経過後に公表することについて説明があり、意見等を踏まえつつ、事務局案に賛同することとされた。

委員からは、以下の意見があった。

- ・議事録を公開することは、一般の企業でも取締役会の議事録が公表されていることを考慮すると、良い方向と思われる。ただし、議事録の公開によって活発な意見が抑制されないような配慮が必要。
- ・議事録を即時公開とすると、特定の関係者に影響を及ぼす可能性があり、自由な発言を阻害することがある。7年の期間を置いてからであれば、名前付きで公表されることは許容できる。

（3）アセットオーナー・プリンシプルへの対応について

事務局から、アセットオーナー・プリンシプルの受入れについて、およびアセットオーナー・プリンシプルの取組方針について説明があり、事務局案に賛同することとされた。

委員からは、以下の意見があった。

- ・CIOには運用に対する責任があり、専門性を発揮するために独立性が必要と考えるが、一方で、全てにおいて独立しているとなると問題がある。理事等の監督の下、一定のガバナンスを効かせることが重要である。

以 上